

## E. 結論

難治性の慢性疼痛女性患者において、患者の被養育体験が、疼痛の自覚的重症感に関連している可能性が示唆された。国民全体の医療の観点で、慢性疼痛症状に対する医療への依存度に影響を与える慢性疼痛の自覚的重症感を減少させ QOL を上げるために、情動の安定性に影響を与える両親の養育スタイルと慢性疼痛との関連について、さらなる研究が望まれる。

## G. 研究発表

### 1. 論文発表

該当なし

### 2. 学会および研究会発表

- 1) 河田 浩, 細井昌子, 柴田舞欧, 有村達之, 富岡光直, 船越聖子, 安野広三, 山城康嗣, 久保千春, 須藤信行: 両親の養育態度は疼痛性障害患者の心理特性に影響するか?—自記式質問紙を用いた検討—。第 52 回日本心身医学会総会ならびに学術講演会, 横浜, 2011. 6. 9
- 2) 中山智恵, 細井昌子, 河田 浩, 日浅綾, 有村達之, 富岡光直, 船越聖子, 安野広三, 山城康嗣, 松下智子, 須藤信行: 性的虐待歴を有する疼痛性障害と敵意, 身体化およびヒステリー傾向との関係。第 52 回日本心身医学会総会ならびに学術講演会, 横浜, 2011. 6.10
- 3) 中山智恵, 河田 浩, 細井昌子, 安野広三, 牧野聖子, 岩城理恵, 富岡光直, 有村達之, 久保千春, 須藤信行: 対人交流障害を治療対象とした幼少期に虐待歴を有する病歴 20 年の疼痛性障害の治療経験。第 51 回日本心身医学会九州地方会, 福岡, 2012. 2.17
- 4) 河田 浩, 細井昌子, 柴田舞欧, 有村達之, 富岡光直, 安野広三, 船越聖子,

山城康嗣, 久保千春, 須藤信行: 疼痛性障害における幼少期の養育態度と痛みの破局化との関連。日本慢性疼痛学会, 東京, 2012. 2.18

- 5) 柴田舞欧, 河田 浩, 安野広三, 岩城理恵, 富岡光直, 有村達之, 牧野聖子, 山城康嗣, 久保千春, 清原 裕, 須藤信行, 細井昌子: 慢性疼痛を有する女性における幼少時の両親の養育態度: 一般住民と心療内科患者の比較。第 41 回日本慢性疼痛学会, 東京, 2012. 2.18
- 6) 岩城理恵, 安野広三, 柴田舞欧, 河田浩, 須藤信行, 細井昌子: 慢性疼痛と養育スタイル—父親の過干渉が痛みの強さ, 生活障害, および破局化に関連する。第 41 回日本慢性疼痛学会, 東京, 2012. 2.18
- 7) 中山智恵, 河田 浩, 安野広三, 牧野聖子, 岩城理恵, 富岡光直, 有村達之, 須藤信行, 細井昌子: 幼少期の虐待歴を背景とし根深い人間不信を呈した病歴 20 年の疼痛性障害に対する段階的心身医学的治療。第 41 回日本慢性疼痛学会, 東京, 2012. 2.18

## H. 知的財産権の出願・登録状況

該当なし

## 研究協力者

柴田舞欧: 九州大学病院 心療内科・九州大学 大学院医学研究院 心身医学  
安野広三: 九州大学 大学院医学研究院 心身医学  
澤本良子: 同上  
岩城理恵: 九州大学病院 心療内科  
中山智恵: 同上  
河田 浩: 同上  
須藤信行: 九州大学 大学院医学研究院 心身医学・九州大学病院 心療内科

久保千春：九州大学病院 病院長

二宮利治：九州大学病院 腎・高血圧・脳  
血管内科

清原 裕：九州大学 大学院医学研究院  
環境医学分野

表1 対象群別の痛みの強さ

	地域一般住民		慢性疼痛患者		P for trend
	健常群	一般疼痛群	外来群	入院群	
n	180	251	38	36	
年齢 (平均±SD)	59±11	59±12	48±16	48±10	<0.01
婚姻状況 (パートナーなし)	23%	25%	32%	54%	<0.01
教育年数 (中学卒業以下)	12%	16%	11%	6%	n.s

図1 対象群別の痛みの強さ

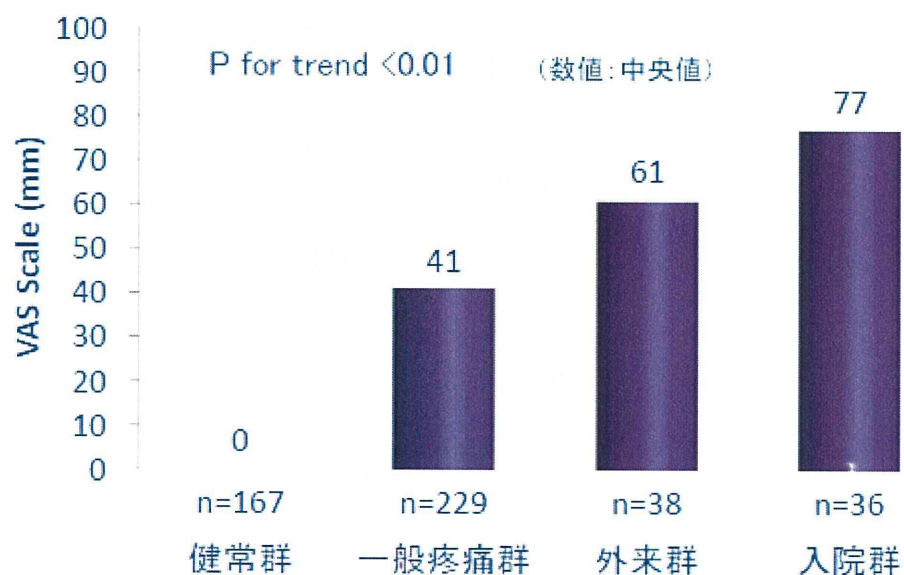


図2 対象群別にみた父親に関する被養育体験

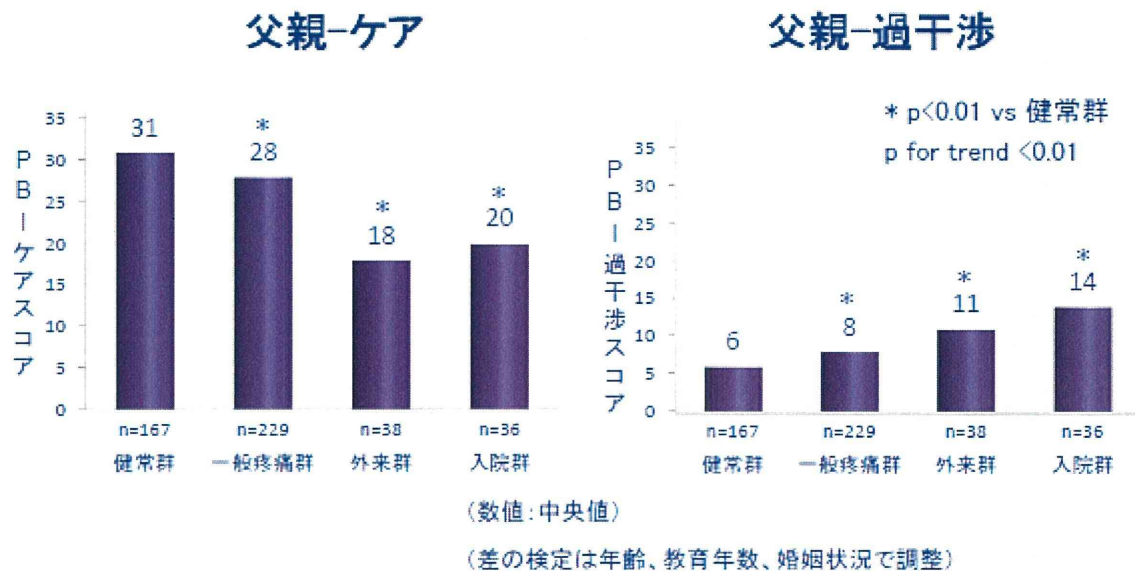


図3 対象群別にみた母親に関する被養育体験

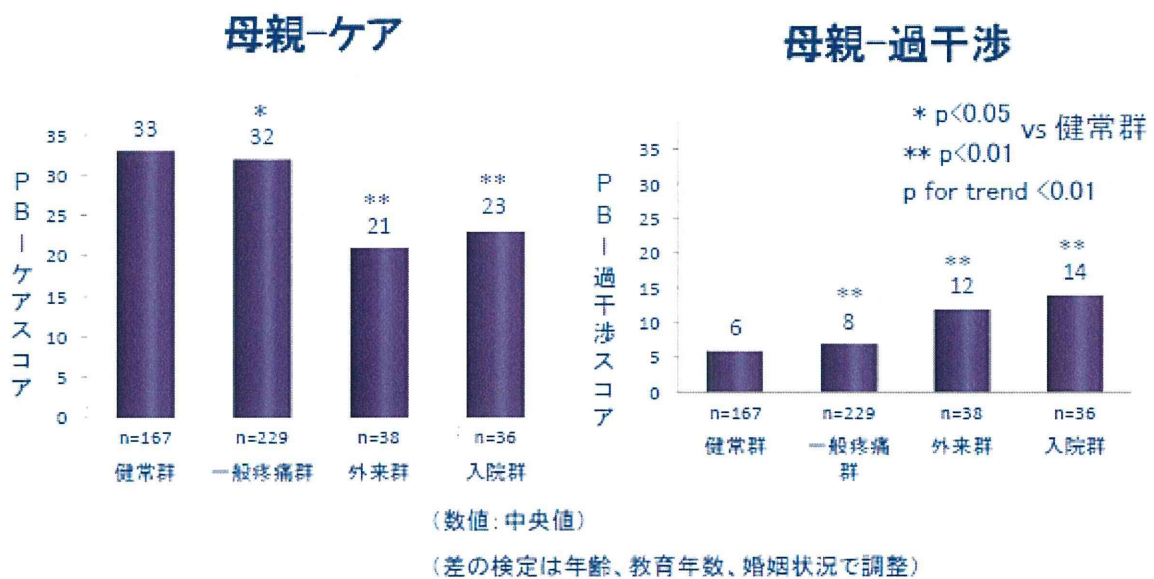


図4 対象群別にみた父親の養育スタイル

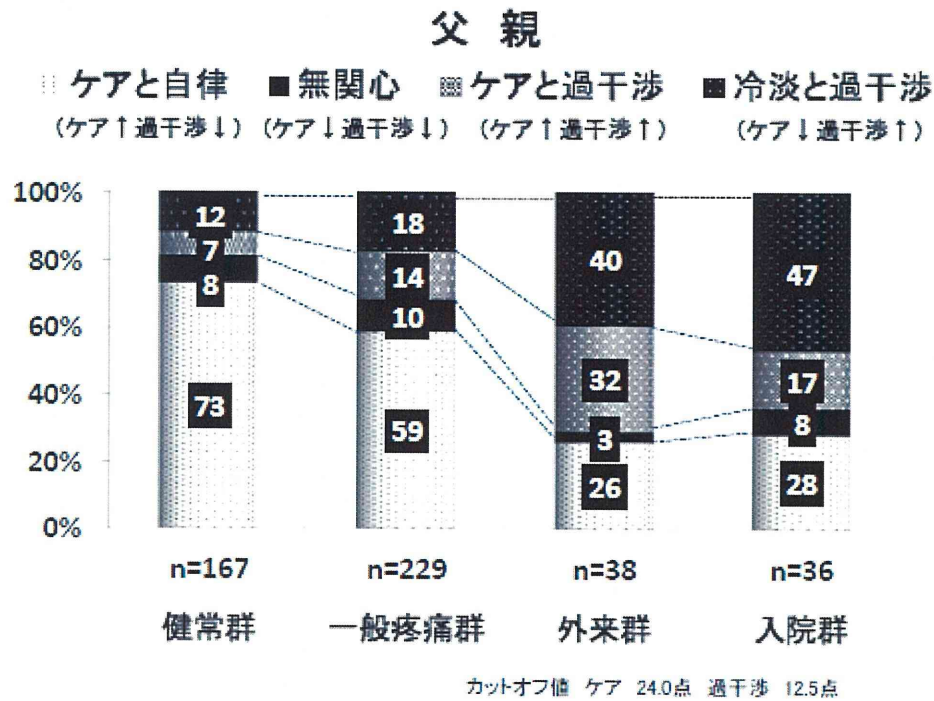
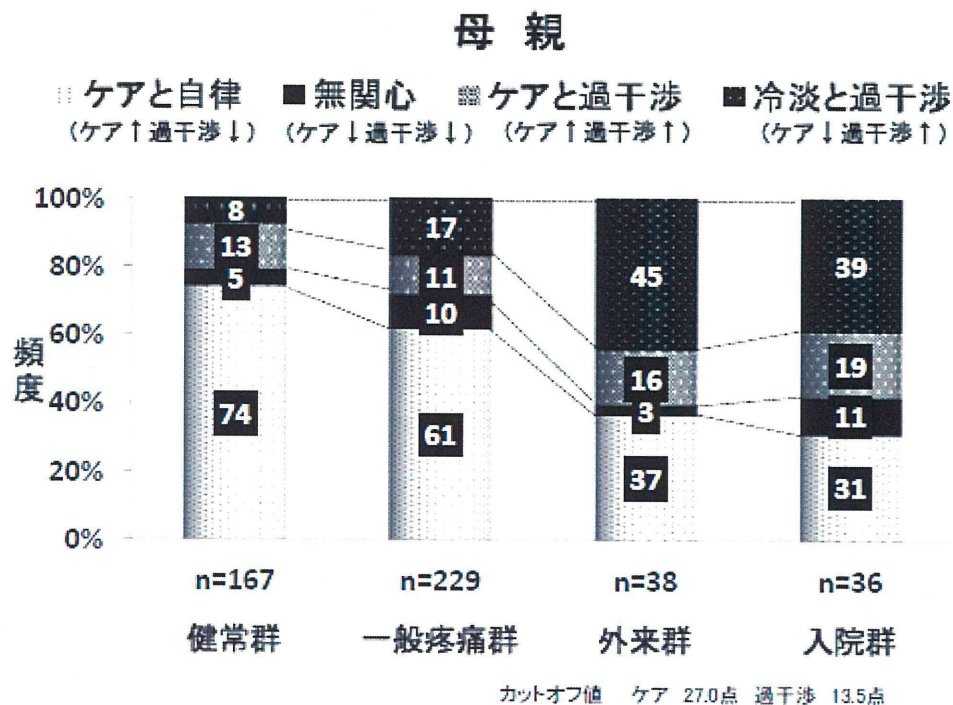


図5 対象群別にみた母親の養育スタイル



## I I I . 研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の 編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
なし							

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
なし					

